



アフターコロナを見据えた飲食店が、
食に携わる人々の「幸せ共有循環事業」に取り組みます。

市内中心部に飲食店を5店舗展開する（株）セカンダイズ：うしのほねグループでは、新型コロナウイルスにより打撃を受けた「食」の業界に携わる人々が、一日も早く笑顔を取り戻せるよう、新たな実店舗と通販事業をスタートし「幸せ共有循環事業」に取り組むことと致しました。「フードロス削減」「SDGs」「オール京都」をキーワードに、京都の「食」の業界の再起に尽力してまいります。



〔取組み1〕

～3つのチャンネルを持つ複合型飲食店「E^{エラブ}LOVE」～

(京都市中京区四条高倉上ル 9月18日開店)

A. 「京都産」にこだわる販売エリア“^{フレル}触”



規格外も含め京都全域の農家さんから直接仕入れる野菜や次世代の職人育成支援を目的とした清水焼の販売エリアを設け、「フードロス削減」や「SDGs」、「伝統工芸の振興」に繋がります。

B. 「イエナカ外食」がテーマのデリカテッセンエリア“^{トノウ}整”

コロナ禍で取り組んできたテイクアウトの経験を活かし、店内飲食の脇役に過ぎなかった「お持ち帰り」「デリカ」を、今後の飲食店の収益の柱になり得るレベルへと転換させます。同時に環境に配慮した素材や容器を使用し、ゴミ削減のメッセージも発信します。



C.「ココロ」も「カラダ」も安らぐレストランエリア“憩”^{イコウ}

自然農法の野菜・フェアトレードの商品・SDGs を推進している生産者の素材を積極的に取り扱いながら、“発酵”やカロリーにも留意したメニューのラインナップで消費者の意識に訴えかけていきます。



〔取組み2〕

～通販事業に進出する京都の飲食店の“逸品”をまとめたお取り寄せサイト「^{ツナグ}繋」～



販売事業に進出するも“個”では結果が出ない飲食店が多い中、状況を打破すべく、ワンチームとしてブランディングをし、収益の上がる体制へと発展させます。

(10月20日現在、9店舗が参画)

-本件に関するメディアからのお問合せ先-

株式会社セカンダイズ ウシノホネグループ ELOVE 広報担当 嶋本大二朗

〒604-8124

京都市中京区高倉通四条上る 帯屋町 585

TEL/FAX 075-212-7878

ホームページ <https://www.elove-kyoto.com/>